

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404
FAX 984-4011

夏休みを楽しく過ごそう

火遊びによる火災にご注意

●火遊びによる火災を防止しましょう

消防庁の調査によると、令和5年中、火遊びによる火災は363件発生しています。そのうち「ライター」によるものが195件(53.7%)で最も多く、次いで「マッチ」によるものが83件(22.8%)、「火のついた紙」によるものが13件(3.5%)となっていて、これらが全体の件数の8割を占めています(5年中の数値は全て速報値)。

火遊びによる火災は、大人がいないときに発生することが多く、発見の遅れから火災が拡大する要因にもなります。たとえ悪意はなくても、子どもは想像もつかない行動を取ることがあり、火遊びによる火災をなくすためには、大人がきちんと教育することが大切です。子どもたちと火の取り扱い方法や、火災の恐ろしさについて話し合うようにしましょう。

●火遊びによる火災防止のポイント

- ・ライターやマッチを子どもの手の届くところに置かない。
- ・子どもだけで火を取り扱わせない。
- ・火遊びをしている子どもを見掛けたら注意する。
- ・火の取り扱い方法や、火災の恐ろしさについて子どもと話し合う。



●花火は楽しく安全に

花火には火薬が使用されています。取り扱いを誤るとやけどを負ったり、近くの燃えやすい物に燃え移って火災になったりすることがあります。

花火で遊ぶときは説明書をよく読み、ルールを守って使用しましょう。



●花火を安全に楽しむポイント

- ・風の強いときは花火をしない。
- ・燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- ・大人と一緒に遊ぶ。
- ・水の入ったバケツを用意し、使った花火は必ず水につける。

